



## スーパーアクリルポリッシャー／義歯床用シリコンポイント

### 荒研磨から仕上げまで、全て賄える

義歯床用レジンの研磨面が粗雑になつていると、付着物、色素性沈着物が付き易い。

さらに表面が粗雑であると表面積が増加し、吸水量も多くなる事に伴い、床用レジンの劣化につながると思われる。床用レジンの表面の滑沢さを保つ事は、細菌の付着を防ぐ事とも関連があると言える。

この様な事から、床用レジンの研磨は、義歯表面を最も少ない切削量で、機

能的、審美的、衛生的、更に緻密な表面性に仕上げ、特にシリコンポイントの機能や性能を活かして、研磨作業を進めていかなければならない。

Kerr社のスーパーアクリルポリッシャーは、従来のシリコンポイントと比べ、特筆すべき点がいくつかある。

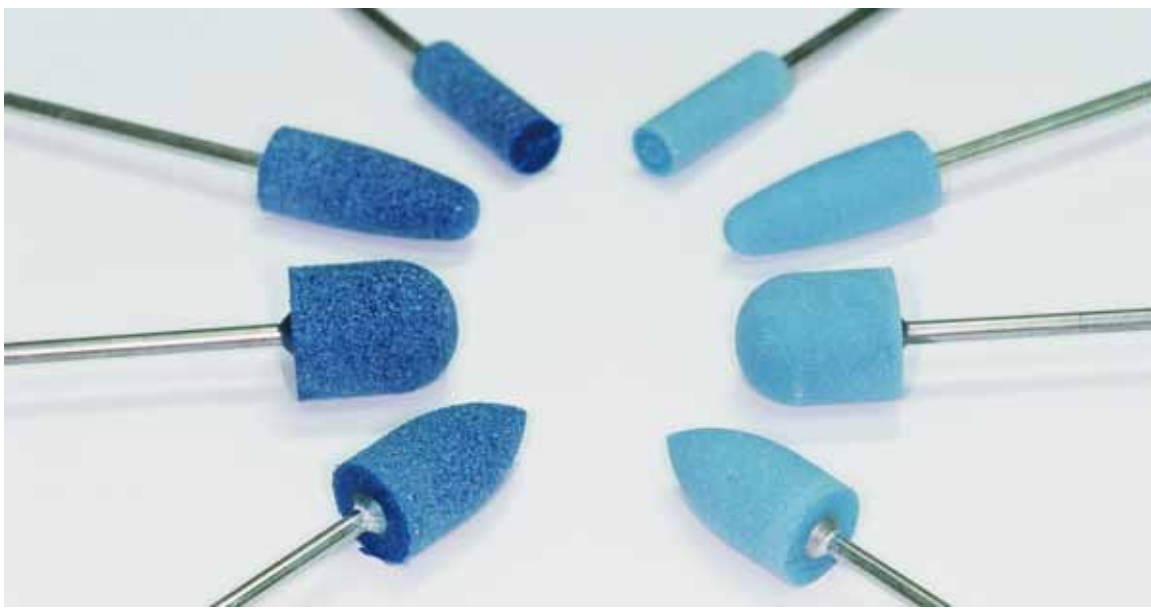
スーパーアクリルポリッシャーには、研磨砥粒として、炭化ケイ素、酸化アルミニウム、ダイヤモンドが配合され、ゴム基材で緻密に結合されているため、使

用すると従来の2〜3倍の耐久性を実感できる。

又、豊富な形態が揃えられ、それぞれコース(荒目)、ファイン(細目)が用意されているので、荒研磨から仕上げまで、スーパーアクリルポリッシャーのシステムで全て賄えると言つていいだろう。筆者は、床用レジンだけでなく、個人トレーやサーモフォーミングで使用する軟性樹脂の研磨に用いている。刃

の彫が深く、軟性樹脂を削ると毛羽立ちが出来るが、スーパーアクリルポリッシャーのコース(荒目)で、この毛羽立ちをスムーズに処理できるので、とても重宝している。

この様にあらゆる樹脂に応用可能と思われる本システムを、今後も探求したいと思つている。



1. スーパーアクリルポリッシャー(4形態) 上から、シリンダー、ナローフレーム、グレネイド、フレーム。左側：コース(粗目)、右側：ファイン(細目) 全ての形状に、軸無と軸有がある。軸無はマンドレルと組み合わせて使用する。



2. シリンダーは、先端部をドレッシングする事により、咬合面の細部まで研磨可能である。



3. ナローフレームは、最も一般的な形態で、辺縁部の研磨に用いる。



4. グレネイドは上顎口蓋面や下顎舌側部の研磨に用いる。



5. フレームは、義歯の乳頭部、付着歯肉部の研磨に有効である。



6. 筆者が机上用として使用している研磨材料 左から  
・ホリコカーバイドバーS198140023、S274140060【株式会社茂久田商会】  
・スーパーアクリルポリッシャーのナローフレーム(コース、ファイン)【サイブロン・デンタル株式会社】  
いずれも上から下にスリットが入れてある。切れ目を入れる事により、更に切削力が高くなる。  
・フェルトホイール(フュージョンポリッシュ用)【株式会社美須化学研究所】  
・フュージョンポリッシュ【株式会社美須化学研究所】  
ハンドピースを持つ手を汚さず片手で研磨材を出す事ができ、便利である。



7. スーパーアクリルポリッシャー(ファイン)使用后、研磨面にフュージョンポリッシュを少量出し、フェルトホイールで仕上げ研磨を行う。